

「キャンプ砂防2018」を開催

◆ 辻 隆 宏* ◆

1. はじめに

「キャンプ砂防」は、砂防を専攻する大学生等を対象に体験的に砂防の意義・役割について学ぶ場を提供して、砂防に対する認識を深めてもらうことを目的として、平成8年度より毎年度実施しています。この「キャンプ砂防」という名称は、

元国連難民高等弁務官・緒方貞子さんの提唱で始まった難民援助の現場を実際に体験する青年向けの研修プログラムである「キャンプ・サダコ」にちなんで命名されたものです。

「キャンプ砂防」には、平成8年度に開始以来、これまでに2,000名を超える学生が参加しています（図-1）。

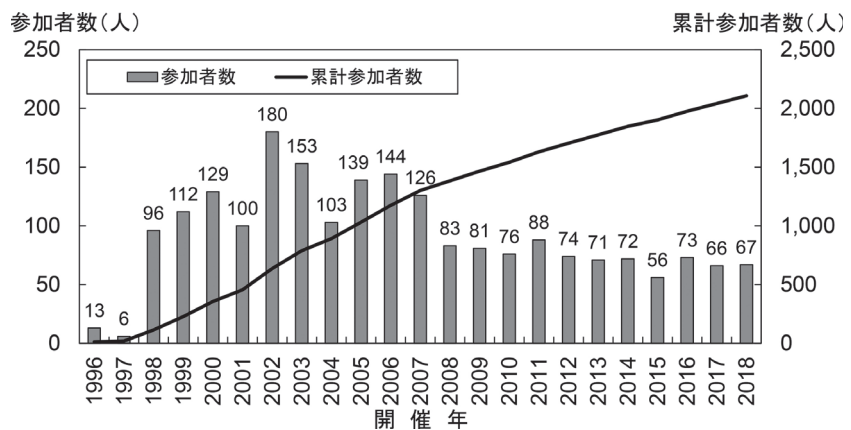


図-1 「キャンプ砂防」参加者数の推移

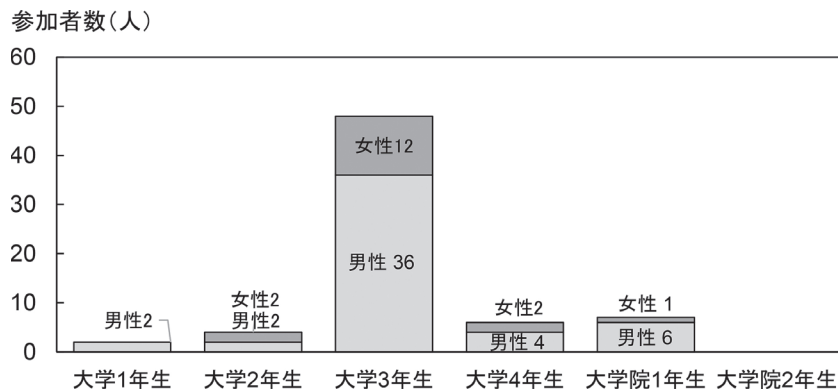


図-2 「キャンプ砂防2018」参加者の学年構成

2. 「キャンプ砂防2018」の概要

平成8年度の初開催より数えて23回目の開催となる「キャンプ砂防2018」は、大学等の夏季休暇期間中の本年7月末から9月上旬にかけて、北海道から鹿児島県まで全国21箇所の直轄砂防関係事

務所で実施されています。平成30年度は、「平成30年7月豪雨」や、台風による災害が全国で発生し、実施が危ぶまれましたが、予定どおり開催することができ、全国の大学1年生から大学院1年生までの学生67名（男性50名、女性17名）が参加しました（図-2）。

* Takahiro Tsuji 国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室地震対策係長

表-1 「キャンプ砂防2018」実施内容

機関	実施事務所等 (所在地)	実施時期 開始 ~ 終了	参加 者数	実施内容	
				実施テーマ	実施概要
北海道 開発局	苫小牧河川事務所 (北海道苫小牧市)	8月27日～8月31日	3名	人々のくらしと北海道経済の大動脈を守る火山砂防事業を学ぶ	樽前山火山砂防事業で実施している砂防関連調査、砂防施設工事での見学・体験等を通じて火山噴火に起因する土砂災害への備えについて学ぶ。
東北 地整	新庄河川事務所 (山形県新庄市)	8月27日～8月31日	4名	キャンプ砂防2018 in 月山～作業体験、地域体験等を通じ「砂防事業と地域の暮らし」を知る～	砂防事業・地すべり事業の現場体験、施設視察、地域体験(畑作業など)、民泊体験など。
関東 地整	利根川水系砂防事務所 (群馬県渋川市)	8月20日～8月24日	3名	キャンプ砂防2018 in 利根川「利根川上流域と浅間山の砂防事業を学ぶ」	利根川上流域(吾妻川・烏川・片品川・神流川)の砂防事業、火山噴火災害の歴史、地すべり対策事業を、現場での作業体験や見学を通じて砂防事業について学ぶ。
	日光砂防事務所 (栃木県日光市)	8月27日～8月31日	4名	キャンプ砂防2018 in 日光「もうひとつの日光～雄大な自然に隠された災害の歴史～」	日光の歴史や風土を学ぶと共に、土砂災害から日光を守るために続けられている砂防事業の変遷と対策工法等について学びます。また、平成27年9月の関東東北豪雨の際に土石流災害が発生した地区の復旧状況について現地を確認します。
	富士川砂防事務所 (山梨県甲府市)	8月27日～8月31日	4名	土砂流出の著しい富士川流域の暮らしを守る南アルプスのSABOを学ぶ	大断層・糸魚川-静岡構造線の複雑な地形と脆弱な地質を現地調査し、過去の土石流災害体験談や講義等を通して自然災害の猛威と砂防事業について学ぶ。
北陸 地整	立山砂防事務所 (富山県中新川郡立山町)	8月20日～8月23日	5名	富山平野の人命や財産を守る立山砂防事業について考える	事務所長講話・中山間地域の特性・立山カルデラ砂防博物館見学・水源地調査・現地視察・砂防工事現場体験(コンクリート打設・山腹工・軌道保線等々)
	金沢河川国道事務所 (石川県金沢市)	8月27日～8月31日	4名	白山麓の歴史・文化・自然と砂防の役割を学ぶ	白山麓の歴史・文化・自然を地域の人々との交流をとおして、砂防事業の役割を考えます。さらに、白山国立公園内で砂防事業を行っていることから、環境保全と砂防についても考えていきます。
	阿賀野川河川事務所 (新潟県新潟市秋葉区)	8月27日～8月31日	5名	「地すべり」の模型を使ってメカニズムと対策工を学ぶ	「地すべり」の模型から移動のメカニズムと対策を学ぶとともに、「滝坂地すべりの歴史」について学習する。
	飯豊山系砂防事務所 (山形県西置賜郡小国町)			工事現場見学体験・地域の人々との交流、現地調査等を通して中山間地域における砂防の役割や自然環境配慮の取り組みについて学ぶ。	
中部 地整	天竜川上流河川事務所 (長野県駒ヶ根市)	8月27日～8月31日	5名	南アルプスと中央アルプスに生まれた南信州の自然に触れながら砂防について学ぶ	事業概要講義、工事現場見学及び体験、砂防・地すべり施設見学、伊那谷地形現地踏査等
	富士砂防事務所 (静岡県富士宮市)	8月20日～8月24日	5名	キャンプ砂防2018 in 富士山「富士山の砂防と現場体験学習」	日本有数の大崩壊地である「大沢崩れ」対策をはじめとする富士山南西山麓での土砂災害対策や日本の大動脈を守るための由比地すべり対策、富士山の火山噴火による土砂災害軽減のための調査について、工事現場見学や崩壊地等の現地調査を通じて、現在実施されている砂防事業を学ぶ。

機関	実施事務所等 (所在地)	実施時期	参加 者数	実施内容	
		開始 ～ 終了		実施テーマ	実施概要
中部 地整	多治見砂防国道事務所 (岐阜県多治見市)	7月30日～8月3日	2名	キャンプ砂防2018 in 多治見 災害「長野県梨子沢」「御嶽山」における砂防事業の実体験と木曾・東美濃の歴史と文化	平成26年7月に発生した長野県南木曾町の「梨子沢土石流」の災害復旧事業や昭和59年に発生した長野県西部地震による「御嶽崩れ（伝上崩れ）」の現地調査、砂防事業を展開している中山間地域の現状と、木曾・東美濃の歴史と文化にふれ、砂防事業と地域との関連等を学び砂防に対する認識を深める。
近畿 地整	六甲砂防事務所 (兵庫県神戸市東灘区)	7月30日～8月3日	2名	六甲砂防事務所管内において、実際に行ってきた砂防事業や、現在実施中の砂防事業の取り組みについて	見学・実習等を通して、都市部である六甲山地の砂防事業を学んでもらう。
	紀伊山系砂防事務所 (奈良県五條市)	8月20日～8月24日	5名	紀伊山系における砂防事業の体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・河道閉塞・深層崩壊・土石流対策の工事現場見学および作業体験 ・大規模土砂災害対策研究機構（大規模土砂災害対策技術センター）の調査や研究に関する体験学習 ・砂防堰堤の計画設計演習
中国 地整	倉吉河川国道事務所 (鳥取県倉吉市)	8月20日～8月24日	3名	キャンプ砂防2018 in 大山 「砂防事業を見て、聞いて、考える」	砂防施設点検 等
	大山源頭部崩壊地調査、砂防計画、砂防環境調査、砂防現場実習 等				
四国 地整	四国山地砂防事務所 (徳島県三好市)	9月3日～9月7日	3名	中山間地域・四国山地より学ぶ！	砂防・地すべり学習、砂防・地すべり工事見学、地域との交流 等
九州 地整	宮崎河川国道事務所 (宮崎県宮崎市)	8月20日～8月24日	4名	霧島山系の砂防事業について	新燃岳噴火後の対策について、現場見学や地元の体験談を聞くことで、火山噴火対応の砂防事業を学ぶ。
	大隅河川国道事務所 (鹿児島県肝属郡肝付町)			火山との共生をめざして	桜島の火山活動の現状、砂防工事における土石流及び噴火災害に対する安全対策、NPO法人の活動を通じて桜島との共生等について、講演及び工事現場の体験を通じて桜島の火山砂防事業を知ってもらう。
	雲仙復興事務所 (長崎県島原市)	8月27日～8月31日	3名	雲仙普賢岳災害の原点にもどり火山との共生を考える	砂防事業現場・災害遺構見学、無人化施工操作体験、噴火災害と復興について（講義）、ジオツアー、地域との交流等
	川辺川ダム砂防事務所 (熊本県球磨郡相良村)	8月22日～8月24日	3名	川辺川の砂防と現場体験学習	事業概要説明、砂防工事計画説明、砂防現場見学・施工管理体験、最新型のレーザ距離計を用いた土砂災害時の緊急調査訓練等

各事務所においては、各地域の特色を反映させた独自のテーマを設定しており、砂防工事・調査の現場実習や砂防に関する知識の習得のほか、参加学生に砂防と地域のつながりを理解してもらうために中山間地域の自然・文化の学習、地場産業の作業体験、地域住民との意見交換や災害体験談を聴く場を設けるなど、幅広いカリキュラムで実施しました（表－1）。

3. 「キャンプ砂防2018」の実施状況

各事務所における「キャンプ砂防2018」の実施状況を示します（写真－1～写真－10）。

様々な現場において施工、調査、維持管理等の実作業を学ぶ実習、過去に災害を経験した地元住民の方からの災害体験講話や地場産業の作業体験等、多彩な実習が行われました。

また、「キャンプ砂防2018」の終了時に、参加



写真-1 ウルシ谷堰堤施工現場見学
(四国山地砂防事務所)



写真-4 熊本阿蘇現場視察(遠隔操作室)
(川辺川ダム砂防事務所)



写真-2 コンクリート打設体験(立山砂防事務所)



写真-5 篠原台被災現場見学(六甲砂防事務所)

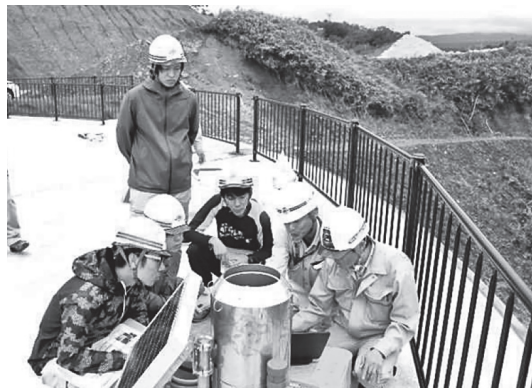


写真-3 自動降灰量計計測演習(苫小牧河川事務所)



写真-6 孺恋村長講話(利根川水系砂防事務所)

した学生へアンケート調査を実施しました(図-3～図-7)。

応募前に「キャンプ砂防」を知っていたのは参加学生の5割程度、砂防事業の理解度は5割程度と、学生に対してなお一層、砂防事業及びキャン

プ砂防について知ってもらう取り組みが必要だと感じさせられる結果となりました(図-3、図-4)。

参加動機としては、「実際に砂防現場を見たい」が約5割と例年並でしたが、「最近の自然災害状況を見て」手を挙げた学生が増加するなど、土砂



写真-7 大山源頭部崩壊地調査
(日野川河川事務所・倉吉河川国道事務所)



写真-9 成果発表および意見交換会
(新庄河川事務所)



写真-8 そば打ち体験 (新庄河川事務所)



写真-10 成果報告会・閉講式
(天竜川上流河川事務所)

災害への関心が高まっていると思われます (図-5)。

「キャンプ砂防」のカリキュラムについては、「満足」と回答した学生が8割程度と非常に満足度が高い結果となりました (図-7)。これは、これまでのアンケートを基に、合同開催の分割による移動時間の短縮等を行い、カリキュラム構成の改善を図った結果と考えられます。しかし、合同開催の事務所においては、引き続き移動等の

時間に対する不満が見られましたので、今後も事務所の負担を考慮しながら調整を図っていく必要があります。

来年度の「キャンプ砂防」では、これらの意見を踏まえて、より有意義な内容にするとともに、より多くの学生が参加しやすい開催時期にするよう改善していきたいと思います。

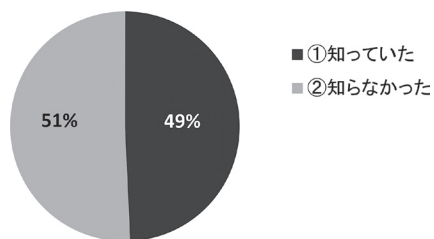
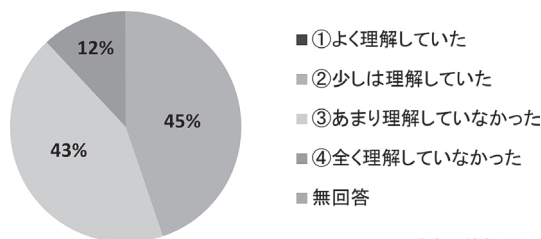


図-3 キャンプ砂防を知っていたか



有効回答数=67

図-4 参加するまでの砂防事業に対する理解度

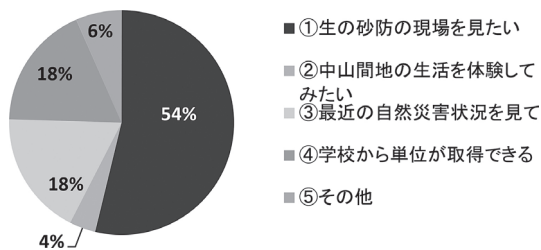


図-5 なぜ参加しようと思ったか

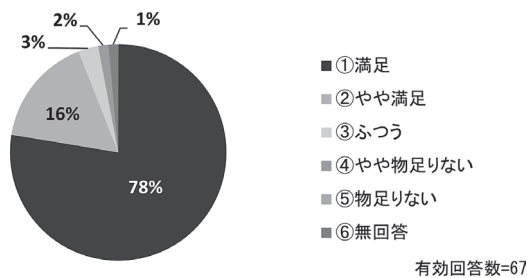


図-7 カリキュラムの内容について

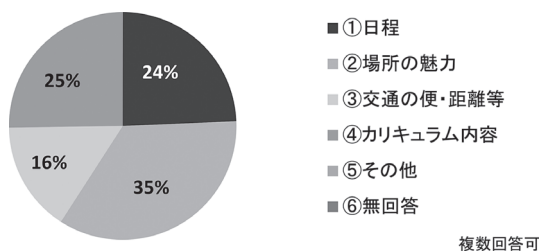


図-6 希望事務所を選ぶ際に重視した点

4. おわりに

平成30年度は、「平成30年7月豪雨」や台風などの豪雨、また、「平成30年北海道胆振東部地震」などの地震による広範囲で激甚な土砂災害が発生しており、これまで以上に砂防事業への社会

的関心が高まっています。砂防を志す学生の皆さんにとって、「キャンプ砂防」は大学の授業だけでは学ぶことが出来ない中山間地域での生活体験や砂防事業に関する就業体験など、様々な体験ができる貴重な機会でもあります。来年度も各地域の特徴を活かしながら充実した内容を企画することにより、砂防事業に関心を抱く多くの学生に「キャンプ砂防」の参加を期待しています。

最後になりましたが、今回で23回目を数えることとなった「キャンプ砂防2018」が無事に開催できたことに、これまでにご協力いただいた各大学の先生方及び関係機関の多くの皆様に深く御礼申し上げますとともに、これからも引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

キャンプ砂防2018に参加された学生の皆さんへのアンケート

記入日 月 日
 校名・学科
 氏名

キャンプ砂防修了時に参加した事務所の担当官に提出をお願いします。

アンケート結果は、キャンプ砂防の今後のより良い企画立案などの参考とさせていただきます。

1. 参加にあたって

Q1-1. あなたは、以前からキャンプ砂防を知っていましたか。(いずれかに○)

- ①知っていた ②知らなかった

Q1-2. Q1-1で①に○をつけた方は何で知りましたか。(いずれかに○)

- ①先生からの紹介 ②過去に参加した先輩・友人等からの紹介 ③自分でHPを見つけて ④その他 []

Q1-3. 今回のキャンプ砂防へなぜ参加しようと思われましたか。(1つ以上に○)

- ①生の砂防の現場を見たい ②中山間地の生活を体験してみたい ③最近の自然災害状況をみて ④学校から単位が取得できる
 ⑤その他 []

Q1-4. あなたは、今回のキャンプ砂防に参加するまでに国土交通省や都道府県が実施している「砂防事業」をどの程度理解していましたか(いずれかに○)

- ①よく理解していた ②少しは理解していた ③あまり理解していなかった ④全く理解していなかった

Q1-5. あなたは、キャンプ砂防に参加するまでに国土交通省や都道府県の砂防事業の現場を見たことがありますか。(いずれかに○)

- ①ある ②ない ③その他 []

Q1-6. 申込みをするまでにキャンプ砂防に関する情報収集をしましたか。([]内は2つまで○)

- ①はい [キャンプ砂防HP ・ 事務所HP ・ 先生 ・ 先輩、友人等 ・ その他 ()] ②いいえ

Q1-7. 希望事務所を選ぶ際、重視した点は何ですか。(2つまで○)

- ①日程 ②場所の魅力 ③交通の便・距離等 ④カリキュラム内容 ④その他 []

Q1-8. 参加しやすい時期はいつですか。(3つまで○)

- ①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬 ⑤9月上旬 ⑥9月中旬 ⑦9月下旬 ⑧その他 []

2. 参加してみて

Q2-1. あなたが参加したキャンプ砂防の開催事務所はどこですか。

事務所

Q2-2. 実施期間はいかがでしたか。(いずれかに○)

- ①短い ②やや短い ③ちょうどよい ④やや長い ⑤長い

Q2-3. カリキュラム内容は如何でしたか。(いずれかに○)

- ①満足 ②やや満足 ③ふつう ④やや物足りない ⑤物足りない

Q2-4. カリキュラム内容について良かった点、悪かった点を記入してください。

- ・良かった点 []
 ・悪かった点 []

Q2-5. 今回のキャンプ砂防の改善点、感じたこと、これから取り入れたらよいと思われるアイデアなどを記入してください。
 []

Q2-6. あなたはキャンプ砂防を友人や後輩に勧めたいと思いますか。(いずれかに○)

- ①勧めたい ②やや勧めたい ③どちらでもない ④あまり勧めたくない ⑤勧めたくない

3. 今後について

Q3-1. あなたが今後目指している進路について差し支えなければ教えてください。(2つまで○)

- ①ゼネコン ②建設コンサルタント ③国家公務員 ④地方公務員 ⑤造園業 ⑥林業系企業 ⑦その他 []

Q3-2. キャンプ砂防で直接知り合った参加者・別のキャンプ砂防の参加者・過去の参加者などとのあいだで、今後、交流の場を持ってみたいと思いますか。(いずれかに○)

- ①思う ②思わない

Q3-3. Q3-2で①に○をつけた方は、そうした場でどのような情報交換などができればよいと思いますか。記入ください。
 []

4. その他

Q4-1. 申込をしてから参加するキャンプ砂防の決定までは如何でしたか。(いずれかに○)

- ①早かった ②ちょうどよかった ③遅かった

Q4-2. HPの見やすさや使い勝手、情報の掲載度合いなどは如何でしたか。(いずれかに○)

- ①良かった ②ふつう ③良くなかった[理由を具体的に:]

ご協力ありがとうございました。

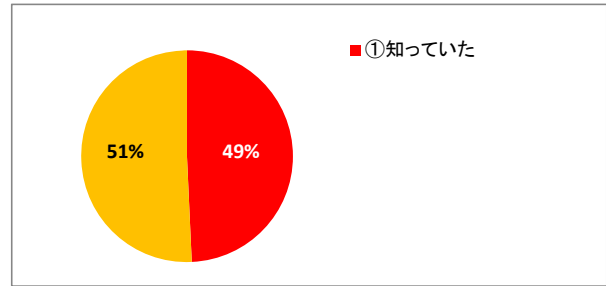
※本アンケートで知り得た情報は、集計・整理のうえ活用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください(個人情報は公表しません)。

■キャンプ砂防2018 学生アンケート回答結果集計

Q1-1

キャンプ砂防を知っていたか

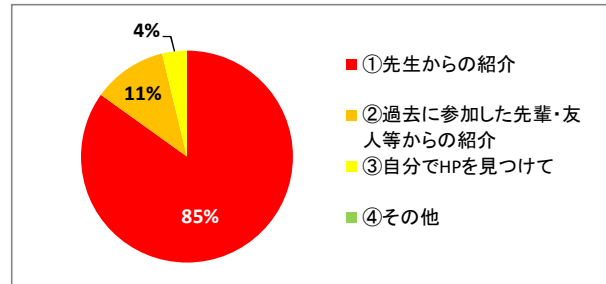
回答	回答数	備考
①知っていた	33	
②知らなかった	34	



Q1-2

キャンプ砂防を何で知ったか

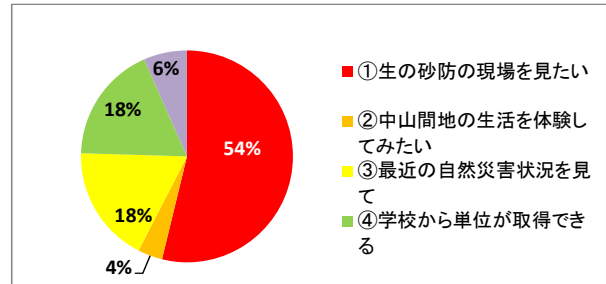
回答	回答数	備考
①先生からの紹介	45	
②過去に参加した先輩・友人等からの紹介	6	
③自分でHPを見つけて	2	
④その他	0	
無回答	0	



Q1-3

なぜ参加しようと思ったか(3つまで)

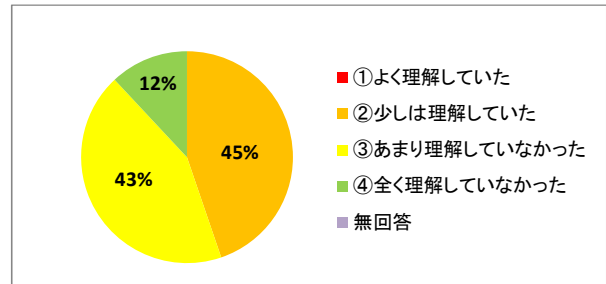
回答	回答数	備考
①生の砂防の現場を見たい	57	
②中山間地の生活を体験してみたい	4	
③最近の自然災害状況を見て	19	
④学校から単位が取得できる	19	
⑤その他	7	



Q1-4

参加するまでの砂防事業に対する理解度

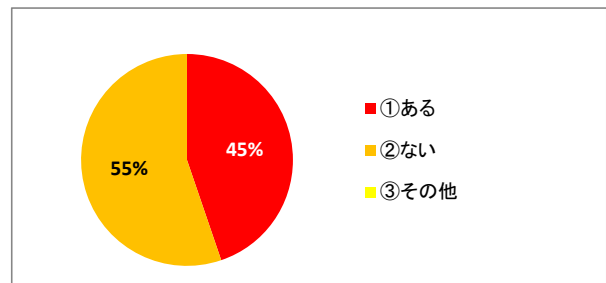
回答	回答数	備考
①よく理解していた	0	
②少しは理解していた	30	
③あまり理解していなかった	29	
④全く理解していなかった	8	
無回答	0	



Q1-5

砂防事業の現場を見たことはあるか？

回答	回答数	備考
①ある	30	
②ない	37	
③その他	0	

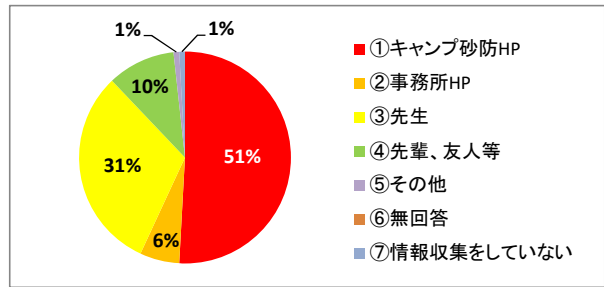


■キャンプ砂防2018 学生アンケート回答結果集計

Q1-6

申込み前の情報収集(2つまで)

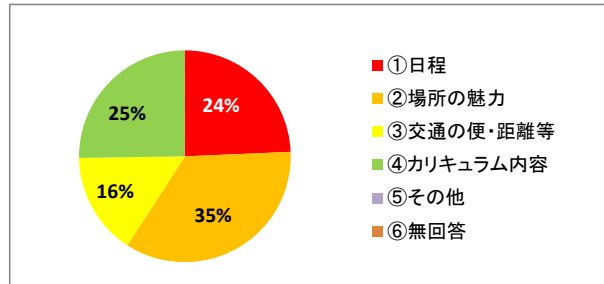
回答	回答数	備考
①キャンプ砂防HP	59	
②事務所HP	7	
③先生	36	
④先輩、友人等	12	
⑤その他	1	
⑥無回答	0	
⑦情報収集をしていない	1	



Q1-7

希望事務所を選ぶ際重視した点(2つまで)

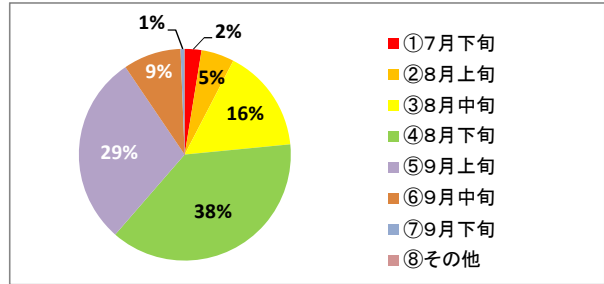
回答	回答数	備考
①日程	28	
②場所の魅力	40	
③交通の便・距離等	18	
④カリキュラム内容	29	
⑤その他	0	
⑥無回答	0	



Q1-8

参加しやすい時期(3つまで)

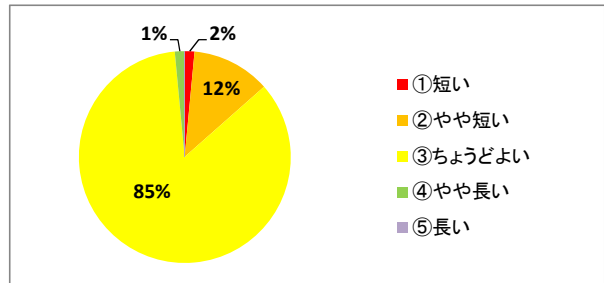
回答	回答数	備考
①7月下旬	4	
②8月上旬	8	
③8月中旬	25	
④8月下旬	60	
⑤9月上旬	46	
⑥9月中旬	14	
⑦9月下旬	1	
⑧その他	0	



Q2-2

実施期間について

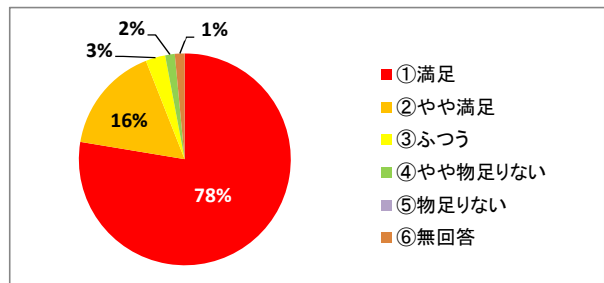
回答	回答数	備考
①短い	1	
②やや短い	8	
③ちょうどよい	57	
④やや長い	1	
⑤長い	0	



Q2-3

カリキュラム内容について

回答	回答数	備考
①満足	52	
②やや満足	11	
③ふつう	2	
④やや物足りない	1	
⑤物足りない	0	
⑥無回答	1	

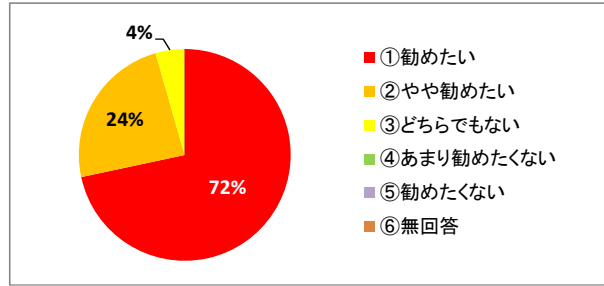


■キャンプ砂防2018 学生アンケート回答結果集計

Q2-6

友人や後輩にキャンプ砂防を勧めたいか？

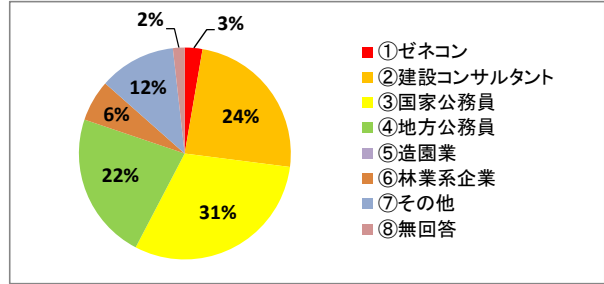
回答	回答数	備考
①勧めたい	48	
②やや勧めたい	16	
③どちらでもない	3	
④あまり勧めたくない	0	
⑤勧めたくない	0	
⑥無回答	0	



Q3-1

今後の進路(2つまで)

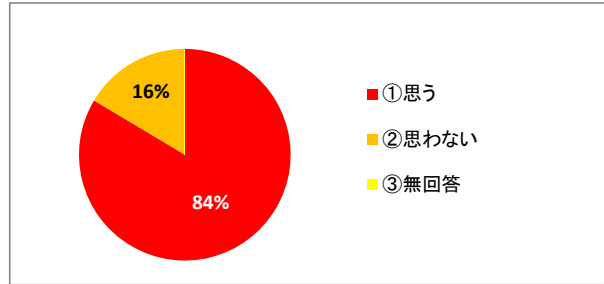
回答	回答数	備考
①ゼネコン	3	
②建設コンサルタント	27	
③国家公務員	34	
④地方公務員	25	
⑤造園業	0	
⑥林業系企業	7	
⑦その他	13	
⑧無回答	2	



Q3-2

参加者と今後の交流について

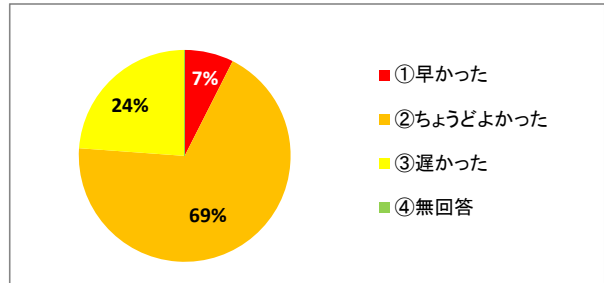
回答	回答数	備考
①思う	56	
②思わない	11	
③無回答	0	



Q4-1

申込から決定までの期間

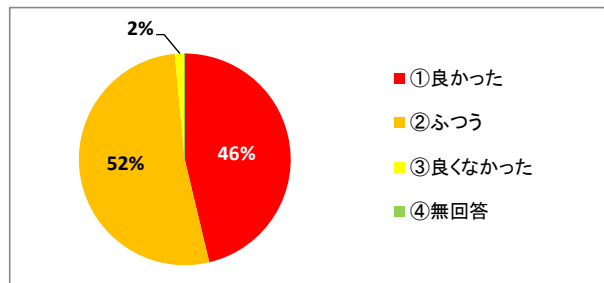
回答	回答数	備考
①早かった	5	
②ちょうどよかった	46	
③遅かった	16	
④無回答	0	



Q4-2

HP見やすさ、使い勝手、情報掲載度合い

回答	人数	備考
①良かった	31	
②ふつう	35	
③良くなかった	1	
④無回答	0	



キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3	Q2-4		Q2-5	Q3-3	Q4-2
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換	HPについての感想 「③良くなかった」回答の理由
1	苫小牧		火山砂防について学べたこと		体験をもっと出来たらよいと感じた	その後の進路等	
2	苫小牧	砂防の環境調査について学びた かったから	現場にたくさん行き体験できたことや多くの人の話を聞いたこと	1つ1つのカリキュラムの時間が短かったこと	砂防に関して参加者と職員の意見交換会等を行いたかった		
3	苫小牧		現場の様子を見れた	なし		どういった研究を行っているか等	
4	新庄		民泊などを通して地域の人たちとの交流ができた事				
5	新庄		堰堤建設の場に立ちいられたのは、とても良い経験 だった	なし	特になし。このままで良いと思います。	各大学で研究している内容など	
6	新庄		現場を生で見る機会は滅多にない。どんな質問にも 答えてくれた。地域体験が楽しい。	雨天がずっと続き、いくらかの内容が仕方なく変更 しないといけなかった。	雨天時はどんな内容をやるのかもあらかじめ知ることができ れば、申込のときに助かる。	近況報告、進路について、就職について、仕事につ いて、など	
7	新庄		普段見学できない現場などを見れる点	雨天で計画が大きく変更になってしまった点(フィー ルドワークなので仕方ない点ではあるが)	実習生が主体的になって行う体験をカリキュラムに導入すべ きではないかと思われる		
8	利根水		短時間でたくさん場所に行くことができた点 実習生に多くの経験をさせるための事務所の職員 の方、工事関係者の皆様、地域や組合の方々の計らい を感じられた。参加を決めた時には想定していな かった数の施設を見学をさせていただき多くのものを 得	作業着を洗濯したかった	これだけ充実しているならプログラムをもっと早く知りたかった と思いました。場所も大事ですが、あらかじめプログラムの詳細が わかると選びやすいのかなと思います。	自分が勉強(専攻)していない分野から砂防を見て いる参加者から新しい考え方を得たい	
9	利根水		様々なところを見ることができた とても充実した5日間を過ごすことができた上に様々 な体験をすることができ勉強になりました	急に予定が増えたりした	予定通りに行ってほしい	他の砂防で重要視しているところを聞きたい	
10	利根水		現場の方の生の声を聞くことができた。行政からの声 を聞くことができた。	実際の砂防事務所が行っている仕事の内容があまり 見えてこなかった(事務仕事など…)	ぼっとん便所のような地域にも行ってみたい	今回参加したメンバーは、皆分野が異なったため、 自分にはない視点から砂防についての話を聞いてみ たい。	
11	日光		5日間でいろいろな体験が出来る	時間的にとても忙しい	日報整理を書く時間が少なくなり、レポート等が大変になったの で時間のスケジュールをもっとしっかりしてほしい	次の年のキャンプ砂防で去年参加した先輩の体験 談を語るなどの時間を作ってほしい	
12	日光		充実していた	レポートの時間があまりなかった	せっかくなので地物の食事をしてみたい	大学の情報、就職について	
13	日光		生の現場体験ができたこと	天気、車酔い(途中休憩がほしかった)	日誌を書く時間がもっとほしい	お互いの進路	
14	日光		様々な現場で、様々な仕事の様子を見て、色々な視 点で砂防を知れた点	レポートを書く時間が少なく感じた	スケジュールが忙しい一方、内容が濃いので、その良さを残しつ つ、課題をする時間も確保してほしいです。	進路、就職活動の様子	
15	富士川		色々な現場を見学することができたのが良かった	レポートなどを書く時間があまり確保できなかった	見学だけではなく実際に体験できればよいと思った		
16	富士川		施工現場を見ることができたこと	説明を聞くだけで自分自身でゆっくり見られない場 所があった点	各現場で数分でよいので散策時間があつたら良いと思います	各キャンプで学んだことや印象、進路についての情 報	
17	富士川		地域特有の歴史などを知れた点	宿泊の便が悪かった	砂防の歴史を知れたのはとてもよかった	国土交通省からの説明会の呼びかけなど	
18	富士川		様々な所に行ってその場その場の施設を見学できた こと		2日目の行程に見学を増やしてもいいかと思います	砂防研究をしていればその内容について	
19	立山		カリキュラムを台風の影響で変更するときの対応が 素早くてありがたかった			どのような研究をしているのか、などを学生からき きたい	
20	立山		他では得られない体験をすることができた点		1つの現場や訪問先が数時間程度で、4日間で多くの現場と関 われたのが良かった		
21	立山	今まで行ったことのない土地に行 く機会となるから	職員の方が非常に親切で、親身に対応して下さった こと	一日の終わりに日誌やレポートを書くのが少し大変 だった	むずかしいかもしれないですが台風の来ない時期または少ない 時期が良いと思います	砂防事業や砂防に関係する人々のちがいに の共有、大学で研究していることの共有	
22	立山		現場の視察、体験が中心に組まれていた点	日程が短縮されてしまった点(台風の影響)	日程の変更ができるように、予備日を設ける	他大学生と交流できるので、他地域の現状や、研 究の内容について、情報交換したい	
23	立山		水谷の大部分を見られた点	水谷の滞在時間がもう少し長ければ良かった	土砂の資源としての面にも重点を当ててほしいと思います		
24	金沢		現場の人と関わる機会が多く、様々な視点が分か った。登山が楽しかった	次から次へと現場に行って、現場の名前が整理で きなかった	体験が多くて良かった。外へ行くのが多く、夜飲みだと資料作成 がままならないのでレポートや日誌は後日提出か書く時間がある と助かります	今回見学した現場のその後など	
25	金沢		多くの現場や、普段出来ない体験をさせてもらったこ と	現場に行くことが多いため、情報量が多くあつたの で、それらをまとめる時間が欲しかった			

キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3	Q2-4		Q2-5	Q3-3	Q4-2
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換	HPについての感想 「③良くなかった」回答の理由
26	金沢	自然環境と人間生活がじかに関わる現場を見たいと思ったため	自然環境や砂防について地域の人の視点からも見ることが出来たこと	管内の地形や地質について巨視的な情報が無いまま始まったため、体系的な理解が追いつくのに時間がかかってしまった。	馴染みのない気候や地質の地域への参加になるため、山地帯や降雨降雪等の概況をはじめに知る機会があれば、理解や発見につながりやすいと感じた	同じことに興味を持った人たちが参加後どのような進路に進んだのか。	
27	金沢		実際にいろいろな現場にいて、たくさん話を聞いたこと	スケジュールがハード。でも充実した内容にするためには仕方ないと思う。	特になし	これからの進路など	
28	阿賀野川・飯豊山系		実際の現場見学が豊富	宿泊代がいくらかかるかの前もっての連絡	なし		
29	阿賀野川・飯豊山系	国家公務員の仕事を知りたい	現場体験させて頂ける機会が多く、質問の場も多く設けて頂けた点	同じ町だけど宿泊施設が毎回異なっていた点(大荷物移動が大変でした)	並んで話を聞いているときにどうしても先頭の方しか話を聞けなくなってしまうのが少し残念だと思いました	学んだことや、その後の進路決定の際の決め手となったこと	
30	阿賀野川・飯豊山系		砂防の実際の現場を生で見ることができた点	あいにくの雨で、思うように行動できなかった点	実際の仕事風景を見てみたかった。企業への説明風景etc	各事務所で行っている事業について知りたい	
31	阿賀野川・飯豊山系		現場見学が多かった。座学の内容を現場で確かめることができた	もう少し時間があれば、多くの場所を回れた	ホテルなどの宿泊先を事前に知りたかった		
32	阿賀野川・飯豊山系		講義と現場見学の両方体験できてよかった	移動が多かった	もう少し人数を増やしてもいいと思った		
33	天上		体験できることが多かった	天候に恵まれなかった	沢登りの時は、胴付き長靴を使用したら良いのではないかと感じた	何を学んでいるのか。どの視点から砂防を学んだのか	
34	天上		現場に多く行き、様々な体験が出来たこと	特になし		就職状況	
35	天上		多くの現場へ行き、体験作業ができたこと。普段見れない場所を見れたこと	特になし	多くの現場等を見れるのが非常に良かった	別のキャンプ砂防地での、学んだこと、特色等の情報交換	
36	天上		今まで経験したことのないことがたくさんできた点		予めその日やること、必要な物がもう少し詳しく分かたら良いと思いました	先輩方が多かったので、砂防に関する職に就いた方がいたらお話が聞きたいと思いました	
37	天上		現場での体験、見学等実学が多かった点	特になし	国家公務員の業務を深掘りできれば良いと感じた	砂防に興味のある人に出会うことは希であるため	
38	富士砂防		登山、体験			全国の災害対策について	
39	富士砂防		生の現場見学が出来たことやドローンなど操縦体験ができたこと	とくになし	行程を早めに知りたかった	貴重な意見を聞くことができるか	
40	富士砂防						
41	富士砂防		普段体験できないことを体験できた	パワポでの発表する必要がないと思った		他のキャンプ砂防ではどのようなことをしたのか	
42	富士砂防				費用に関しての詳しい報告を予めする	進路	
43	多治見	先輩からのすすめ	担当の方が、宿からごはん、もちろんカリキュラムも含め、丁寧に面倒を見て下さった 今回の経験は今後の活動の中でも必ず活かせること と思います。参加させていただけただけを、幸運に思	なし	全ての各現場で、何かしらちょっとした体験ができたらしい	防災事業の地域差や、技術についてなど	
44	多治見		現場など普段経験できないことが経験できた	特になし	特になし	砂防の事業など	
45	六甲		現場を見学できる機会が多かった点	カリキュラムの内容がもう少し早くわかれば、事前に勉強して参加できると思った。		今後の防災のあり方について	
46	六甲		大学で学んできた砂防の取り組みを、実際の現場で見ることが出来る	とくになし	キャンプが始まるまでに、カリキュラム以外の部分で、具体的な研修の流れを知りたかった	進路についてや、仕事でしていること	
47	紀伊山系	国交省からみた仕事としての砂防について知りたかったから	紀伊山系の砂防についてかなり分かった。深層崩壊のメカニズムや砂防ダム設計の意味が分かった。職員の方の説明がとても丁寧で聞きやすかった。自分が何を分かっていなかったのか、これから何を勉強しなければいけないのかが明確になり、砂防の勉強をする第一歩になった。	台風の影響もあり、深層崩壊以外の土砂災害については知る事ができなかった。	国交省の人との交流もしてみたいと感じました	公開実習や現場で行うイベント等情報交換。また各々の就職や砂防や森林に関する興味について話したい。	
48	紀伊山系		工事現場を実際に見ることが出来た点				
49	紀伊山系		多くの現場を見ることができた	天候など以外の理由で行程の遅れがあった		異なる分野を勉強してる人との間で防災に対してどのような意見や見方の違いがあるか	

キャンプ砂防2017 学生アンケート回答(記述)

No	質問 回答 (参加事務所名)	Q1-3		Q2-4		Q2-5		Q3-3		Q4-2	
		参加の理由 (⑤その他)の詳細	カリキュラムの良かった点	カリキュラムの悪かった点	改善点、アイデアほか感じたこと	どのような情報交換	HPについての感想 「③良くなかった」回答の理由				
50	紀伊山系		深層崩壊の中でも、対応の異なる様々な事業について学べた点	深層崩壊のメカニズムや紀伊地域の特徴について学ぶ機会が少なかった点	メカニズムや地域の特徴について学ぶ時間を採り入れる						
51	紀伊山系		現場見学が多かったこと	少し、現場の人と話し足りないときがあった	もう少し現場に近付いて見学したかった						
52	倉吉・日野川		懇親会で職員の方と話すことができたこと	特になし							
53	倉吉・日野川		実際の砂防堰堤やその工事現場を見学でき、試験や測量を体験できた点						インターネットを利用して		
54	倉吉・日野川		現場を多く見れた点	登山後の酒はけっこうつらいと思う	宿泊地がもう少し良いところが良かった。金はまあ多少高くてもいいかなと私は思った。				自分たちが専門としている学業から見た砂防についてできればと思う		
55	四国山地		現場の音が聴けたこと	特になし	多くの現場を見学できて満足です						
56	四国山地		複数の現場を見ることができたこと		建設コンサルタントの方とお話をする機会があれば良いなと思います				他に参加したインターンでの体験など		
57	四国山地		研修生の要望に合わせた内容と、幅広い内容のカリキュラム	満足だったので特になし	何かをする時、その影響を受ける人々へ相談し、意見や考えを知ることが大事だと感じました。				進路相談や就職先での様子		
58	宮崎・大隅		色々な現場を体験できた	似たような事、現場を見せられるのは多少飽きた							まず検索にうまく引っかからない
59	宮崎・大隅		普段見れない所を見ることができた	移動が大変	現地集合は少ししんどい				自分の研究		
60	宮崎・大隅		実際の現場を見ることができました	移動時間が多かったです	移動時間ももったいないのではと感じました				その時どのような研究もしくは仕事をしているのか		
61	宮崎・大隅		座学では経験できない実習ができることが良かったです	特になかったと思います	キャンプと名前がつくのでキャンプファイヤーとかやったら面白いと思います				就職関連のこと		
62	雲仙		座学では経験できない実習ができることが良かったです								
63	雲仙	研究に役立てたい	毎日、内容が盛りだくさんで、貴重な経験がたくさんできた点	最終発表の準備時間が足りなかった点	自習時間が欲しかったです						
64	雲仙		地域のことが分かった	なし	特になし				進路など		
65	川辺川		生の声をきけた	短かった	楽しかった				その場特有の経験談		
66	川辺川		実際に現場を見たり、体験ができたこと	少し期間が短く感じた	もう少し期間が長ければ、もう少し深く聞くことができたこともあるかと思いました				過去の方とは仕事について尋ねてみたいです。また、今回の参加者とは今後の将来についてなど、意見交換ができたと思います		